

とっとり就活体験記

「県内就職おめでとう！キャンペーン」

卸売・小売

4年制大学 文系



①鳥取県での内定先を選んだ理由を教えてください。

大学進学に伴い、地元を離れて広島で暮らしていた。自分は卒業後は地元に戻ろうと決めていたけれど、同じく地方から進学してきた学生のなかには「地元が嫌いだから帰らない」という者も多かった。それが衝撃的で、自分が働くなら地元を魅力的にできるような仕事がしたいと思い、自分に合う就職先を地元企業から探すことに決めた。

②就職活動はいつ頃から、どのように進めましたか？

昨年の12月頃から大学で就職活動の対策セミナーを受け始めた。それから、Webで開催されている企業説明会に積極的に参加して情報を集めた。

そして、3月末に初めてのリモート面接を経験。なかなか慣れず失敗続きではあったけれど、自分の思う反省点を明確にして、次の採用試験での改善を心掛けた。

ひとつひとつ積み重ねて、無事に内定を頂くに至った。

③就職活動をする上で役立ったもの・役立ったことを教えてください。

自己PRを考えるにあたっては、友人から見た自分の人物像についての意見が役に立った。自分では当たり前になっていることも、他人から見れば長所なのだという気付きは、就職活動をする上での視野を広げてくれたと思う。

また、友人も、企業の役員も、自分からすれば他人なので立場の近い存在と言える。そのため、友人が自分に抱いている印象と企業の役員が自分に抱くであろう印象はそれほどかけ離れてはいないはずである。そのため、自分が企業からどんな人間に見えるのかを意識することもできたと思う。

④就職活動をするにあたって「頑張ったこと」「工夫したこと」を教えてください。

頭に浮かんだ言葉を、より分かりやすく噛み砕いて言語化することを頑張った。

私は日本文学を学んでいるのだが、アルバイト先で違う大学の先輩と会話していると「文学っぽい言葉を使うね」と言われることが度々あった。そこで、履歴書や面接の質問に対する解答を考えるときは、頭のなかで書いた文章をそのまま出力するのではなく、もっと分かりやすい表現はないか、ということを考えてから実際に書くように心掛けていた。

⑤やっておいて良かったことを教えてください。

履歴書などを送付する際の、封筒に関するマナーについて調べたことは、やっておいて良かったと思う。就職活動というと、どうしても筆記試験や面接のイメージが強く、大学でもそちらを中心に対策講座が行われていた。

しかし、どれだけ履歴書の内容が素晴らしくても、それを送る際のマナーが杜撰だと信憑性が薄れてしまう。より良い印象を与えるための細かい配慮は、やっておいて損はないと思われる。

とっとり就活体験記

「県内就職おめでとう！キャンペーン」

⑥これから就職活動を迎える学生へメッセージ・アドバイスをお願いします。

就職活動にひとつの軸があることは重要である。

けれど、例えば「地元を魅了的にしたい！」という思いを詰め込んだ志望動機や自己 PR がひとつ完成する。そうすると、それ以上の文章ができないような気がして、色々な企業で使い回してしまいかねないので注意が必要だと思う。自分のなかにどういう軸があって、なぜその企業を選んだのか。それを毎回イチから考えることが重要だと思う。

落ち続けて「どうせまた落ちるのにわざわざ考える必要あるのか」となっているときこそ、じっくり時間をかけて考えてみてほしい。